

出張報告書

No. 10862669

議員出張報告書

下 関 市 議 会 議 長 殿

令和6年2月5日

職氏名 議員 桧垣 徳雄	用 務 令和5年度自治振興セミナー
期 間 令和6年1月29日(月)	出張先 佐賀市

別紙のとおり

2024年2月5日

下関市議会議長 香川昌則様

下関市議会議員 桧垣徳雄

出張報告書

下記のセミナーに参加したので、報告いたします。

記

1. セミナー名と目的 令和5年度自治振興セミナー

地方自治体の職員及び議会議員の政策形成能力、法務能力の向上を図る

2. 主 催 佐賀県 及び 一般財団法人地方自治研究機構

3. 日 時 令和6年1月29日（月）13時～17時

4. 場 所 佐賀市文化会館

5. 参加者 現地会場約300人、オンライン参加約250人、合計約550人

6. 研修内容と学んだこと 現代社会を代表する講師3名の講演

(1) 自治体と大学 ―大学冬の時代の地域戦略―

長野県立大学グローバルマネジメント学部 田村 秀教授

[平成～令和]

- ・全国各地で看護系大学、学部の新設が相次ぐ→その中心が公立大学 …下関市立大学も
- ・少子化や若年層の流出に危機感を持つ県や市は、財政的に余裕があるうちに公立大学の新設に舵を切る
- ・私立大学(公設民営大学)の公立化や純粋の私立大学の公立化の動きも
…県内では徳山大学や東京理科大学の事例あり

[今後の動向]

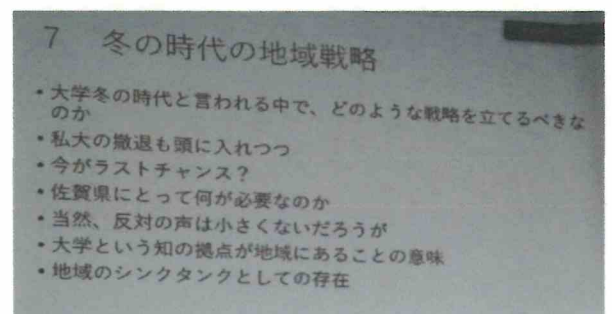
- ・私立大学の半数以上が定員割れ（ただし、小規模の大学が大半）

[冬の時代の地域戦略]

- ・私立大学の撤退もありうることを頭に入れる 短大は厳しい
- ・「大学がさえあれば良い」のではなく、「こういう人材が必要」「こんな教育で地域を盛り上げていく」というビジョンが必要

[必要なのは]

- ・自治体の本気度
- ・育成したい人材像が明確であること
- ・産業界との歩調を合わせる
- ・教育分野と連携すること（小中高）
- ・早期の事務局体制の構築 …大学は教員だけでは回らない
- ・早期の教員確保 …じっくり議論しては優秀な教員がどんどん取られていく。教員の奪い合いが行われている



[さらに]

- ・地元出身者の入学料軽減制度は多いが、授業料の軽減制度は少ない →下関市立大学でも要検討ではないか

[その他]

- ・公立大学は唯我独尊的になることもある。大学のガバナンスについては、第三者的評価委員会がしっかりとしないといけない →大学名は出されなかったが、私が提出した事前の質問の回答ではないかと考えている。
- ・今の出生数は年間80万人程度しかない。市の人口が3万人程度の都留市や名寄市にも公立大学（市立大学）はある。どんな大学が必要なのか。
- ・大学は年を取らない組織だ。この大切さ・重要さを認識しないといけない。地域の活力・元気を維持する組織であり、社会貢献が大きな柱になる。

(2) 人口減少社会における自治体運営

大正大学地域構想研究所 片山善博教授・所長

- ・人口が減るということは、働き手が減ること
- ・ $GDP = \text{生産年齢人口 (15\sim65 歳)} \times \text{生産性}$ 。人口が減少すればGDPが減り、税収も減る。道路の維持管理や年金、医療、介護はどうなる？
- ・今のままでは国家や社会が維持できなくなる。→外国人労働者の受け入れや1人当たりの生産性向上をめざす
- ・生産性の観点からミッションを点検する →ミッションに沿った仕事か、沿わない仕事か。だれのための組織なのか、だれのための仕事なのか。



片山先生が鳥取県知事2年目の時に鳥取県西部地震が発生

○災害復旧・復興のミッションは何なのか？

- ・目の前の悲嘆にくれている被災者の絶望を希望に変える。不安を安心に変えること。
- ・これからも地域で手を携えて住み続けられるようにすること。
- ・コミュニティを維持した形で住むところを確保すること。

仮設住宅を建てるには300万円かかるが、2年後には取り壊さないといけない。それだったら被災者に300万円支援し住宅再建の一助に使ってもらう方が良くはないか。しかし国が個人資産の形成に使うのはダメという。それを論破し、全壊の場合は300万円支援することに。この鳥取県の制度が数年後には国の制度に。今回の能登半島地震の被災者にも同様の支援が行われる。

○マイナンバーカードのミッションは？ だれのためなのか？

利便性を高め、国民のためになるという説明があるが、便利になった、良くなったと実感できるのか。魅力がないからポイントをつけて誘導している。マイナンバーのおかげで名寄せが一発でできるようになった。役所（税務署）のためではないか。

○観光振興のミッションは？ にぎわい創出、交流促進

→大勢来ればよいのか。大勢来てもツアー客は地元にもメリットはあまりない。どれだけお金を落とすかが大事。長期滞在・連泊の方が良い。

○土木部のミッションは？ 中小業者の仕事の確保なのか。県民のみなさんが必要とする土木施設を質の良い形で提供すること。

- ・一人一人を大事にする組織 意欲と能力をフルに発揮できる環境づくり
くさっている職員、能力があるのにその能力を発揮できない組織になっていないか。一人一人の特異な分野を見出してそれを伸ばすと大きく化ける。【例】知事の運転手→デジタル局長
- ・議会のミッションは？ 議員のミッションは？ 恥ずかしながら即答できない。明確な答えができるよう熟考したい。

(3) 新しい地域づくり ―効果的なプラットフォームをいかに設計するか―

慶應義塾大学総合政策学部 飯盛(いさかい)義徳教授

- ・新しいつながりを形成し、資源持ち寄りによる主体性の涵養
- ・つながりの希薄化の要因 意識の変化やサラリーマン化、単身世帯の増加、賃貸共同住宅の住民の居住年数の少なさ
- ・「場」…人が集まり相互作用を行う枠組みや空間のこと。必ずしも建造物の有無は関係なし
- ・コミュニケーションの頻度が高いと信頼性が高い
- ・単に「場」を提供するだけでなく、あえて利用者に役割や出番をつくり、できることを実践してもらうよう誘導 →これが「場」での一参加者から地域において何らかの活動を行う主体へと転じる契機に
- ・【例】 空き部屋が多い団地では地域のまつりでの神輿かつぎや自治会活動を担う人材が不足して困っている。 → 家賃補助して低家賃で学生に入居してもらう。ただし、自治会に入ってもらうことが条件。ウインウインになる。



7. その他

- (1) 上記セミナーの開催を、タブレットの研修案内で初めて知りました。いつも有益な示唆をしてくださる先生の話聞ける良い機会なので、今回参加しました。受講料は無料なので、今後も条件があれば参加してみたいと思いました。
- (2) セミナーとは直接関係ありませんが、他自治体を訪れるとその自治体がどんなことをアピールしたいのかがマンホールの蓋のデザインでよくわかります。今回、佐賀市で見かけたデザインマンホールの中から、いくつか紹介します。



以上